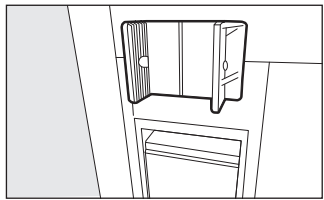


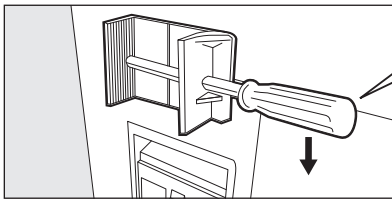
## 取り外し方法

**⚠ 必ず下記の方法に従って外してください。  
他の方法で外した場合は分電盤や本製品の破損の恐れがあります。**

**1** 台座から本体をスライドして外し、  
台座のみ残した状態にします。



**2** ドライバーなどを台座横の穴に通し、  
分電盤に対し平行に回すようにします。



分電盤を押さえてゆっくり回転させて  
はがしてください。  
**回す際は急に力を入れず、ゆっくり  
回してください。**

再取り付けするときは、別売りの交換  
用接着シートをつける前によく接着面  
を清掃してください

## その他の操作

### ●ブレーカーが遮断した場合の操作

まず本体のセットアームを反時計方向に  
回し、その後ブレーカーのレバーをONに  
してください。

### ●作動感度の切り替え

感度切り替えスイッチで弱(5+)と  
強(6-)を切り替えます(目安であり、  
現場の状況により変わります)。

### ●定期点検

1年に1回テストスイッチを押し、ブレーカーがOFFになることを  
確認してください。点検後は本体のセットアームを反時計方向に  
回し、その後ブレーカーのレバーをONにして復帰してください。

## 取り付けQ&A

| 質問                   | 回答                                                         |
|----------------------|------------------------------------------------------------|
| カバー付きの分電盤に取り付ける場合は？  | カバーは完全に閉まりません。半開放状態でも動作には影響がありません。                         |
| 取り付け面が狭いのですが大丈夫ですか？  | 接着部の半分以上の面積が密着する場所であれば取り付け可能です。                            |
| 分電盤に注意書きのシールが貼ってある   | できる限り注意書きシールを避けて取り付けてください。                                 |
| 漏電ブレーカーへの取り付けはできますか？ | アンペアブレーカーへの取り付けをおすすめしますが、ご家庭の状況により、<br>漏電ブレーカーへの取り付けも可能です。 |
| テストスイッチを押しても動作しない    | セットアームにアームフックが付いていませんか？ 取り外してください。                         |

## 保守・点検

- 1年に一度はテストスイッチを使い、正常に動作するかを  
ご確認ください。
- 万が一製品の不良などがございましたら恐れ入りますが  
購入代理店もしくは右記お問い合わせ先へご連絡ください。
- 別売品：交換用パッド／アルコールパッド(LQ-47)

## お問い合わせ先

株式会社 リンテック21  
〒108-0074 東京都港区高輪4-1-18 高輪ビル2F  
TEL:03-5798-7801 FAX:03-3440-5115  
URL: <http://www.lintec21.com>

## ⚠ 使用上の注意事項

- 本製品は地震による通電発火を防止するもので、災害や事故等による被害を補償するものではありません。
- 取扱説明書と異なる取り付けを行った場合は機能しないことがあります。
- 落下等の不必要な衝撃は破損の原因になります。なお感震ブレーカーアダプターとしての使用目的以外でのご使用はご遠慮ください。
- 本製品は設定した震度の揺れを感知すると瞬時にブレーカーをOFFにします。電源が遮断されても安全上問題がないことを確認して  
からご使用ください。また、屋内が暗くなりますので懐中電灯を準備されることをおすすめします。
- 地震の強度や分電盤の材質によって、本製品の効果が薄れることがあります。
- 取扱説明書と異なる外し方をした場合は本製品を壊す可能性があります。
- 分解・組み立ては行わないでください。行った場合は破壊として扱います。
- 予告なく製品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に起因するあらゆる派生的損害について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 取扱説明書

## 感震ブレーカーアダプター YAMORI GV-SB1

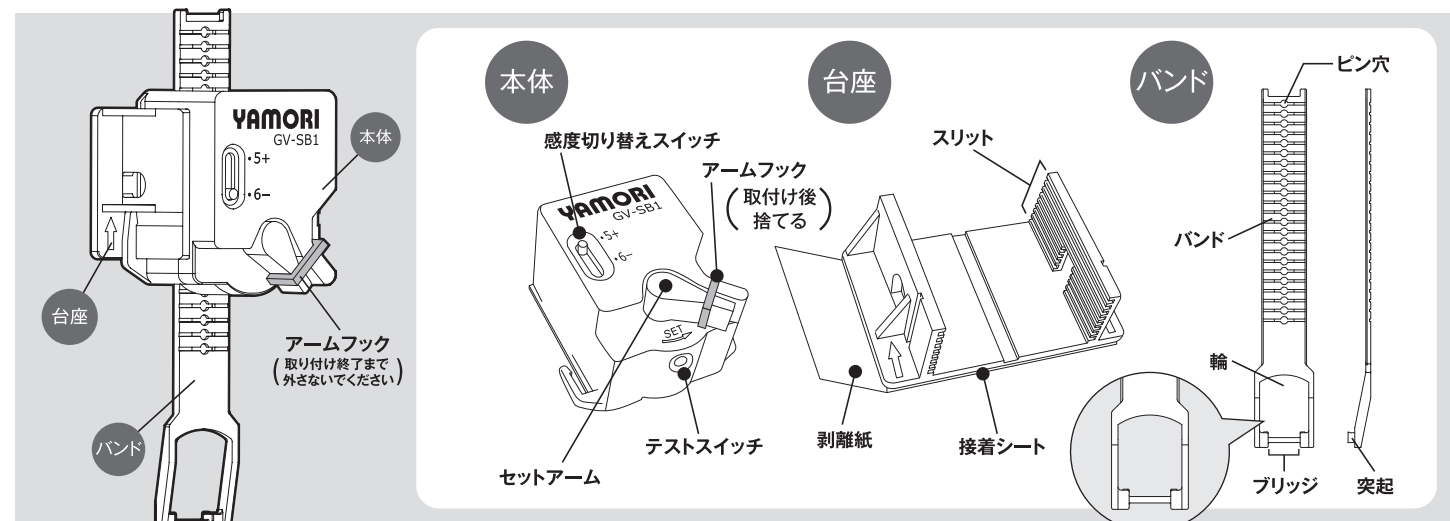
このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。●本書はいつでも見るできるよう大切に保管してください。

## 本製品の特徴

本製品は、通電火災を防止するための分電盤取り付けタイプのアダプターです。  
各種タイプの分電盤に対応が可能となっており、ご家庭に合った分電盤に取り付けが可能です。

## 各部の名称



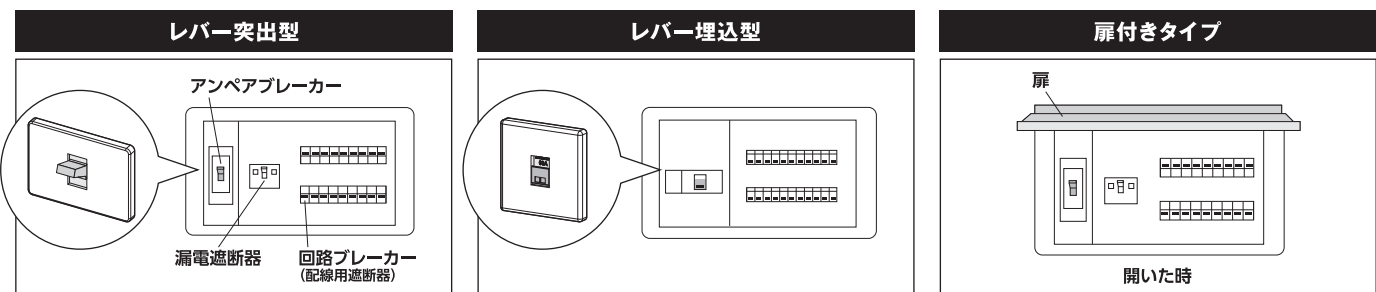
### 商品の構成

- 本体：1個(構成：本体、台座、バンド、アームフック 各1個)
- アルコールパッド：1枚
- 取扱説明書(本書)：1部 ※開梱したら構成品をご確認ください。

### お客様にご用意いただく物

- はさみ(バンドを切り落とすときに使用)

## 分電盤の種類



## 取り付け場所

- 通常はアンペアブレーカーに取り付けます。漏電遮断機とアンペアブレーカーが一体になっている場合は、それに取り  
付けます。
- ほとんどの場合、レバー突出型は開梱して、そのまま取り付けができます。レバー埋込型はスリット位置の変更が必要です。  
そのまま取り付けができないときやスリット位置の変更が必要なときは「取り付け例」、「調整方法」を参考にしてください。



### 作業前 注意事項

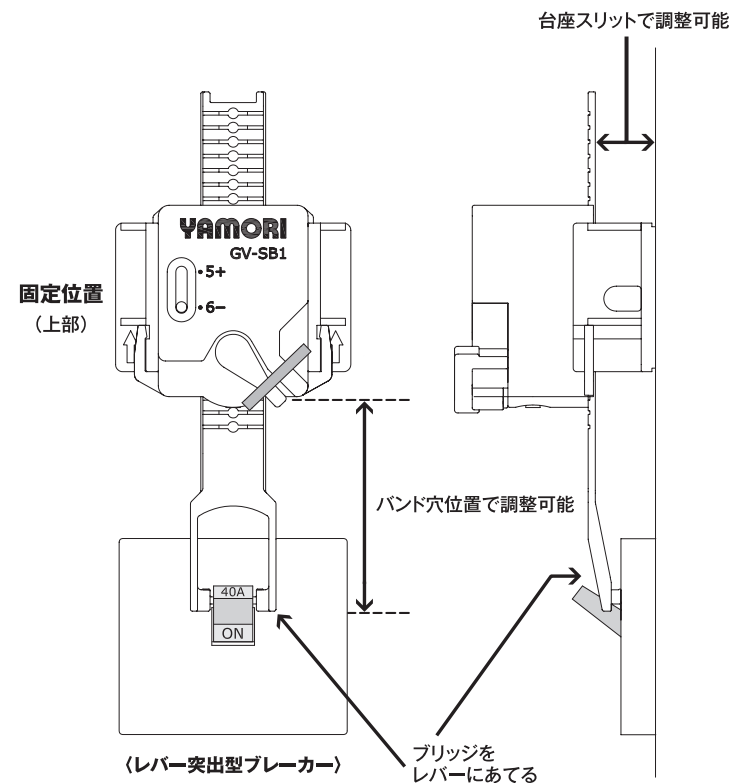
- 日中明るいときに取り付けをしてください。
- 取り付けの際にブレーカーが切れますので、ご家庭内で支障が起こる可能性のある機器がありましたら、安全対策を講じてください。  
(医療機器・IH調理器・稼働中の洗濯機・録画中のテレビやゲーム機・パソコンなど)
- 分電盤は通常高い位置に設置されています。高い位置での作業をする際、落下などの危険がないようご注意ください。

製造販売元：株式会社 リンテック21

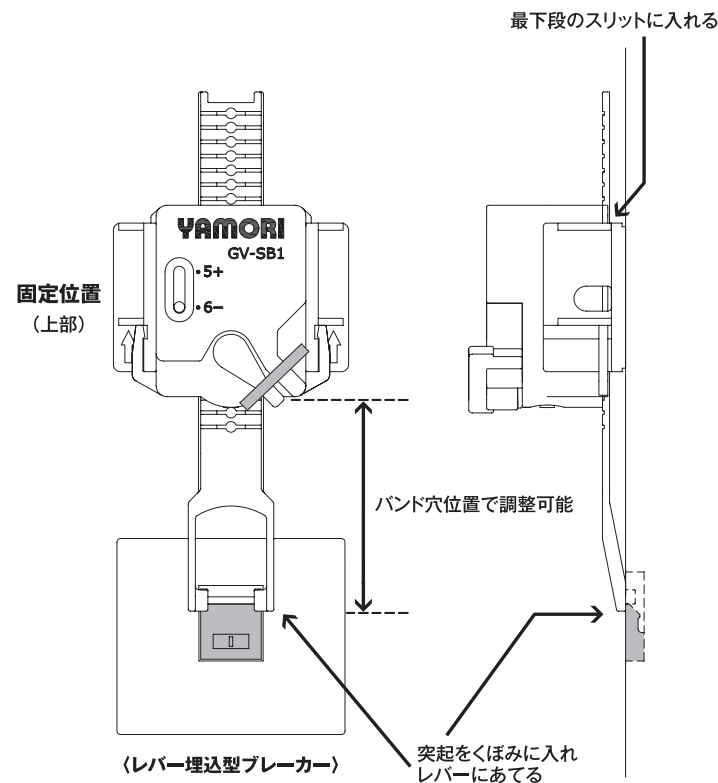
TEL.03-5798-7801 FAX.03-3440-5115  
〒108-0074 東京都港区高輪4-1-18 高輪ビル2F

## 取り付け例 (レバーの上部に取り付ける場合)

### レバー突出型の場合



### レバー埋込型の場合



※上部に取り付けができない場合は、「取り付け例(レバー下部に取り付ける場合)」をご覧ください。

## 調整方法

### バンド穴位置と台座スリットの調整

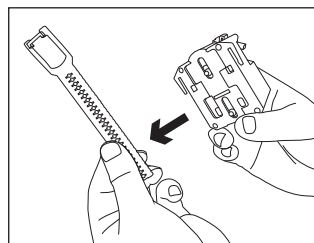
#### ●バンドの付け替え

台座から本体を外し、バンドをブレーカーレバーからの固定位置に合わせて付け替えます。(図1を参照)  
バンドがじゃまなときは、はさみでカットします。

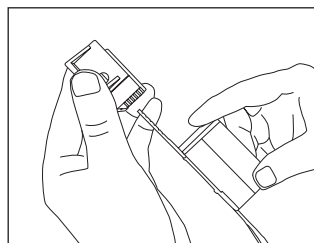
#### ●台座スリットの入替え

台座から本体を外し、分電盤とバンドがほぼ平行になるようにスリットに入れ替えます。レバー埋込型に取り付ける場合は最下段のスリットに入れます。本体をスリットに入れるときはカチッと音がするまで押し込みます。(図2を参照)

(図1)

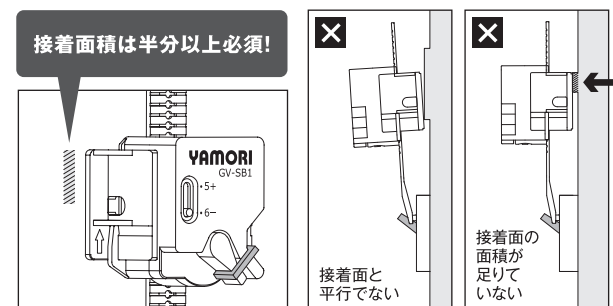


(図2)

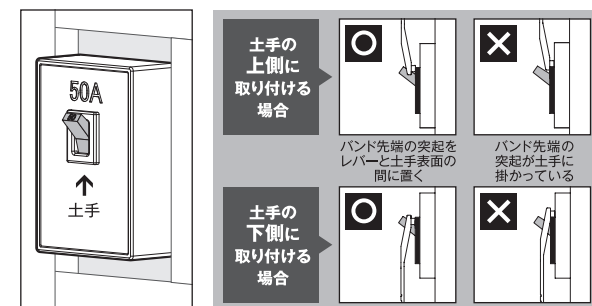


## 取り付け時の注意

接着場所は曲面を避け、台座の半分以上が接着できる場所を選んでください。

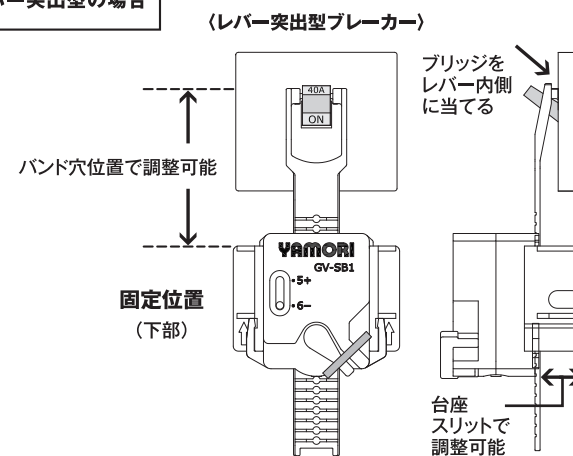


レバーの周囲に土手があるブレーカーの場合は以下にご注意ください。

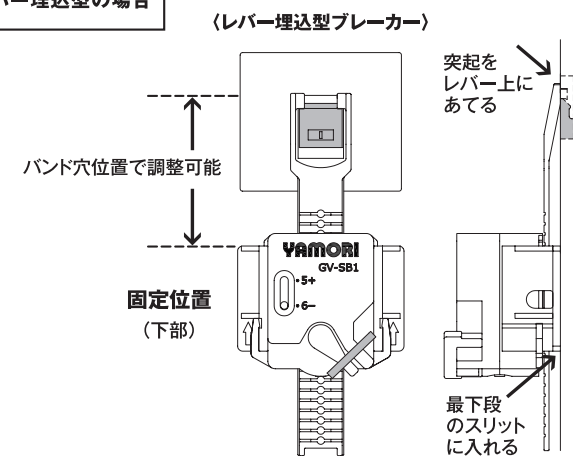


## 取り付け例 (レバー下部に取り付ける場合)

### レバー突出型の場合



### レバー埋込型の場合

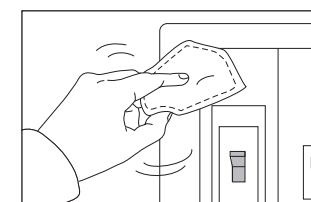


バンドの輪が上にくるように付け替えます。  
※取り付けの方法は①以降をご参照ください。

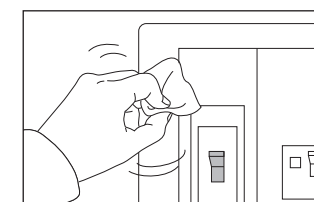
## 取り付け方法

### 1 貼り付ける場所の清掃

接着する位置が決まったら、乾いた布でふいて、ホコリを取り除きます。  
付属のアルコールパッドを使い接着部分をきれいにします。  
※アルコールが乾くまでは貼り付けしないでください。



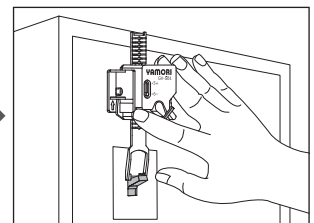
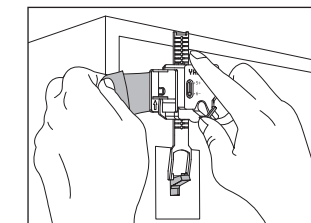
布で軽く拭く



アルコールパッドで仕上げ

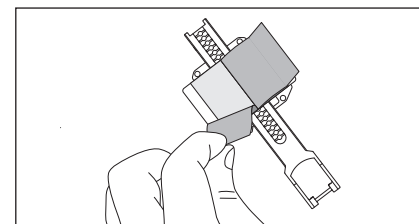
### 4 本固定

外に出ている剥離紙を外側へ引きながらはがします。本体の中央部を5回ほど強く分電盤の方向に押してください。



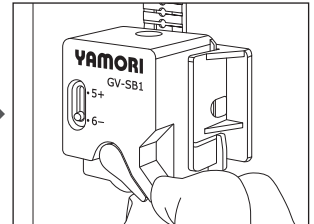
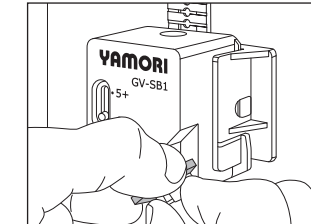
### 2 剥離紙をはがす

本体の接着部を手前に向け、図のように左側の小さい方の剥離紙をはがします。



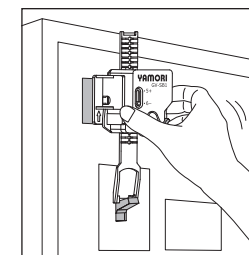
### 5 アームフックの取り外し

右手でセットアームの先端を軽くつまみ、左手でアームフックを手前方向に引いて外します。右手はセットアームを保持したまま、さらに強くつまみセットします。



### 3 仮固定

バンドを目安にし、目で見てほぼ垂直になるように手で持ちます。バンドのブリッジをブレーカーのレバーに軽く押しあてて本体を分電盤に軽く押しつけます。  
※突出型の場合、埋込型の場合の取り付け方は、「取り付け例」をご参照ください。



#### チェックポイント

- バンドはほぼ垂直ですか？
- レバー突出型の場合、バンドのブリッジがレバーにあたっていますか？
- レバー埋込型の場合、本体が台座の最下段のスリットに入っていますか？
- バンドの突起がくぼみに入って、レバーにあたっていますか？
- チェックの結果修正が必要な場合、仮固定をはがしてやり直してください。

### 6 動作テスト

セットアームがセットになっていること、ブレーカーレバーがONになっていることを確認してから、テストスイッチを押します。動作に問題がなければセットアームを反時計方向に回し、ブレーカーレバーをONにして完了です。  
※反動で指をぶつけない様ご注意ください。 ※セットアームを回すには若干力が必要です。反動が大きいですが故障ではありません。

